
凹んだ愛の形

ツン子

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

凹んだ愛の形

【Nコード】

N2037BA

【作者名】

ツン子

【あらすじ】

ある女の子とある男の子が死に方を話すだけ。

つまらない話。

貴方が最後までのようにして死ぬか、自分が最後までのようにして死ぬかがとても気になるんだ。

「ねえ、知ってる？」

「溺死って苦しい苦しい助けて、って藻掻いているかんじだよね？」

「実はこの前、溺死しかけた知人から聞いた話なんだけどね、段々ボーっとしてきて頭がポワンってしてふわふわあーって浮いたかんじですごく心地好いんだって！！」

人生やり直せるなら一度は溺死してみたいね!!

「ふうん、興味ない」

「でも、溺死体はブクブクで見た目えげつないからね」

「：見たことないから分からないよ」

「この世で一番美しい死に方と一番醜い死に方、知ってる？」

「毒死と惨死？」

「ぶう、ハズレ」

「一番美しい死に方はね、凍死なんだそうで透き通った綺麗なまま死にたいんなら北極に行つてさあ：カッチンコッチンに固まってくるといいね」

これが私の2番目の理想の死に方なの。

「それでね」

「一番醜い死に方はね、」

「首吊りなんだって、体の中のものにゆるにゆるぐちゃぐちゃ出てくるの、全てが、全部、気持ち悪くて醜い死に方だよ」

こんな形で死にたくない。絶対にね。絶対。

「ねえ、貴方はどうやって死にたい？」

「俺は傍に君が居てくれたらいい」

「私、」

「貴方を」

「綺麗なまま残したいの、だってとっても美しいんだもの」

「首だけでもいい、私が蛹で固めてあげる」

「気持ち悪いこと言うね」

「ふふ、それだけ貴方が好きっていうこと」

「君の望む死に方は？」

「私？…私は」

「ねえ？椿の散り際ってとても綺麗だと思うの、瓣じゃないもの、花まるごと落ちるの」

「だから私は椿のように死にたいわ」

「貴方」

「に」

「首を斬り落としてほしいの」

「…」

「…俺に、」

「殺されたいの？」

「うふふ、貴方にだけ…ね」

「ホント…何で君はそんなに気持ち悪いんだ…」

「さあ？ 貴方が好きだからじゃないの？」

「言っておくが、こんな俺を好いてくれるのはアイツらとお前だけなんだぞ？」

「皆、物好きなの、この捻くれ者」

「その台詞、お前には言われたくなかったよ」

「私が捻くれ者だとも言うの？」

「それ以外に何が？」

「えー？ 可愛い恋人…と、思わない？」

「……」

「思わないの？」

「……」

「ねえ」

「…思うよ…」

「なにその顔…」

「いや、可愛いかなって思ってたさあ…」

「…私、死ぬよ……」

「はは、冗談!!」

「もう…」

「好きだよ」

「…知ってる、よ」

「君は？」

「わ、私は…貴方が大好きだよ」

「ふふ、ありがとう、可愛いよ」

（たまには俺から言ってみせるのもありだよな？）

私は貴方に殺されたい。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n2037ba/>

凹んだ愛の形

2012年1月5日02時46分発行